

Fairy TopIX 2012 候補作一覧

※推理将棋・プルーフゲーム部門 候補作一覧

推1～推35	詰将棋メモ 出題	P2～P24
推36～推40	WFP作品展	P25～P29
推41～推42	おばかな作品展	P30～P32
推43～推44	第3回フェアリー短編コンクール	P32

候補作は全44作。2012年にネット上に掲載された作品となります。目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

推1 2012/2 チャンプ作

オウム返し 10手

将ちゃん「ねえピーちゃん、将棋やってみようよ。」

ピーちゃん「シヨウ、シヨウ。」

将ちゃん「僕が先手だ、お願いします。」

ピーちゃん「オネガイシマス。」

将ちゃん「あれ？ピーちゃんは僕の指した筋の手をマネしてくるの？」

ピーちゃん「マネ、タノシイ。マネ、タノシイ。」

将ちゃん「ありゃ～たった10手で詰まされちゃったー。」

ピーちゃん「カッタ、カッタ。ワイ、ワイ。」

将ちゃん「僕が角・飛・玉だけを動かしてたのが敗因かな？」

ピーちゃん「ソウダネ、ソウダネ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第52回出題 第1番>

▲3八飛 △3四歩 ▲7八飛 △7七角不成 ▲6八飛 △同角不成 ▲5八玉 △5六飛 ▲5五角 △5七飛成 まで10手

正解者：18名

推2 2011/2 チャンプ作

オウム返し(その3) 10手

将ちゃん「ねえピーちゃん、また将棋やろうよ。」

ピーちゃん「シヨウ、シヨウ。」

将ちゃん「ピーちゃんは僕の指した筋の手をマネするから僕が先手でいいよね？」

ピーちゃん「イイヨ、イイヨ。」

将ちゃん「お願いします。」

ピーちゃん「オネガイシマス。」

将ちゃん「ありゃ～また10手で詰まされちゃったー。」

ピーちゃん「カッタ、カッタ。ワーイ、ワーイ。」

将ちゃん「駒を取る手が無かっただけに僕が初手に玉を動かしたのが敗因かなー？」

ピーちゃん「ソウダネ、ソウダネ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第52回出題 第2番>

▲4八玉 ▽4二金 ▲3六歩 ▽3四歩 ▲3七玉 ▽3三金 ▲4六玉 ▽
4四金 ▲5六玉 ▽5五金 まで10手

正解者：17名

推3 2011/2 チャンプ作

オウム返し(その10) 12手

将ちゃん「ねえピーちゃん、また将棋やろうよ。」

ピーちゃん「シヨウ、シヨウ。」

将ちゃん「ピーちゃんは僕の指した筋の手をマネするから僕が先手でいいよね？」

ピーちゃん「イイヨ、イイヨ。」

将ちゃん「お願いします。」

ピーちゃん「オネガイシマス。」

将ちゃん「ありゃ～また12手で詰まされちゃったー。」

ピーちゃん「カッタ、カッタ。ワイ、ワイ。」

将ちゃん「飛車を取ったのが唯一の駒取りで、10手目にその飛車を使ってたね。」

「それと駒を成る手は無かったね。」

ピーちゃん「ソウダネ、ソウダネ。」

将ちゃん「あーあ、これで10連敗かー。ピーちゃん強いなー。」

ピーちゃん「ドンマイ、ドンマイ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第52回出題 第3番>

▲3六歩 △3四歩 ▲5八玉 △5五角 ▲2六歩 △2八角不成 ▲3八金
△3七角不成 ▲6八金 △6九飛 ▲5六歩 △5九飛不成 まで12手

正解者：16名

推4 2012/3 山葵茶漬け作

58~58 8手

「さっきの8手で詰んだ将棋、初手も最終手も58の着手だったね」

「4手目は6筋の着手だったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第53回出題 第1番>

▲5八金左 ▼3四歩 ▲5六歩 ▼6六角 ▲5七金 ▼同角成 ▲3八金
▼5八金 まで8手

正解者：17名

推5 2012/3 はなさかしろう作

93572 9手

「それ暗証番号？ 5桁は珍しいね」

「まさか。さっきの将棋のメモだよ。9手で詰んだんだ」

「9手の9か。それじゃ3572は？」

「3筋の手が5回、7筋の手が2回あったのさ」

「ははあ例の...って、あれ？ 97532じゃないのか」

「残念でした。83571なら有名な手筋があるけどね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第53回出題 第2番>

▲7六歩 ▼3二金 ▲3三角成 ▼4一玉 ▲3四馬 ▼3三金 ▲同馬
▼7二金 ▲5一金 まで9手

正解者：14名

推6 2012/3 KG作

7&7 11手

「昨日の11手で詰んだ将棋、見たかい？」

「うん、駒成りも無かったのによくあんな短手数で勝負がついたね」

「初手も平凡な歩突きだったんだけどね」

「そういえばその将棋、同種駒の手がちょうど7回あったね」

「それだけじゃなくて、偶数筋の手もちょうど7回あったよ」

「さらに7段目の手がちょうど2回あったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第53回出題 第3番>

▲4六歩 △3四歩 ▲6八玉 △7七角不成 ▲同 玉 △4二玉 ▲6六玉
△3三玉 ▲2四角 △4四玉 ▲6五玉 まで11手

正解者：10名

推7 2012/4 山葵茶漬け作

五段目の鉄砲隊 9手

「しまった、8手目に金を動かしたら25桂と打たれて9手で詰んでしまった！」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第54回出題 第1番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △4二玉 ▲2一馬 △3三玉 ▲3五角
△4二金 ▲2五桂 まで9手

正解者：22名

推8 2012/4 渡辺秀行作

一つの銀へのこだわり 10手

「昨日の将棋、君は一つの銀を沢山動かしたんだって？」

「うん、しかも4回目に動かした先は初期配置の位置なんだよ」

「そんなことやってるから10手で詰められるんだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

〈詰将棋メモ 第54回出題 第2番〉

▲6八銀 ▼3四歩 ▲7九銀 ▼7七角成 ▲6八銀 ▼6七馬 ▲7九銀
▼4九馬 ▲6八玉 ▼6七金 まで10手

正解者：20名

推9 2012/4 はなさかしろう作

飽きっぽい倉庫番 10手

「なんだなんだ。また散らかってるな」

「こっちはいつも通りきちんとしてるよ」

「仕事ほったらかしでまた二人して将棋してたな。日誌にメモが残ってる」

「どれどれ。角の手3回、歩を突いたのは6手目の一度だけだって」

「2手目と7手目は同じ種類の駒か。10手で詰んだみたいだ」

「将棋に性格が表れるんならどっちが勝ったか一目瞭然だね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

〈詰将棋メモ 第54回出題 第3番〉

▲5八金左 ▼3二銀 ▲6九玉 ▼3一角 ▲5九金寄 ▼5四歩 ▲6八
銀 ▼9七角成 ▲7九角 ▼8七馬 まで10手

正解者：19名

推10 2012/5 山葵茶漬け作

三々五々 9手

「こんなところにいたのか。1回戦負けしたのがそんなにショックか？」

「そりゃ9手で詰まされて負ければね」

「そりゃそうか。それより部長から伝言だ。自分の対局が終わるなり、三々五々歩いて学校に戻れって」

「終わるなり……歩いて……三々五々って、ひどいなあ」

「ん、三々五々がどうかしたか」

「さっきの将棋、3筋3筋5筋5筋っていう順に着手して負けたんだよ」

「ああ、相手が初手に飛車を動かしたのは見てたけど、あの後そんな事になったのか」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

〈詰将棋メモ 第55回出題 第1番〉

▲5八飛 △3四歩 ▲5六歩 ▽3三角 ▲5五歩 ▽5二玉 ▲5四歩
▽5一角 ▲5三歩成 まで9手

正解者：21名

推11 2012/5 DD++作

陰陽五行 10手

「この前、陰陽師らしき人が将棋を指しているのを見たんだ」

「さぞ珍妙な光景だったろうね。うまかったのかい？」

「なんでも『万物は5つのバランスが大事だ』とか言って、

5つの奇数筋に5種の駒を着手して、たった10手で先手玉を詰まして勝ってた」

「たった10手！？ 妖しい術でも使ったんじゃないか？ 棋譜教えてよ」

「78金、92香、……その先は忘れたな。成る手はなかったはずだよ」

「いきなり香！？ 本当にまともに勝ったのかますます怪しいな……」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第55回出題 第2番>

▲7八金 ♽9二香 ▲7六歩 ♽3四歩 ▲7七金 ♽同角不成 ▲5八玉
♽1二飛 ▲4八金 ♽5九金 まで10手

正解者：20名

推12 2012/5 はなさかしろう作

11553 11手

「それ暗証番号？ 5桁は珍しいね」

「ちがうって。さっきの将棋のメモだよ。11手で詰んだんだ」

「11手の11なんだね。それじゃ553は、5筋に53回？」

「...無理でしょそれ。55の地点に指された角の手の成不成符号を見たら3種類あったのさ」

「成不成符号が3種類？ 成と不成と、あとなんだっけ、生成りとか？」

「.....怖いこと言うね。成の手と、不成の手と、ふつうに成不成符号がつかない手だよ」

「11手で55に3種類の成不成符号の角の手だね。11243ならよくある形が使えるのにな」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第55回出題 第3番>

▲7六歩 △4二玉 ▲3三角不成 △3二玉 ▲5五角不成 △7四歩 ▲
8二角不成 △5五角 ▲9二飛 △2二玉 ▲5五角成 まで11手

正解者：19名

推13 2012/6 DD++作

船囲いを崩すには 9手

「さっきの将棋、▲9六歩△52金右▲97角△42玉まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの5手は分かるよね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第56回出題 第1番>

▲9六歩 △5二金右 ▲9七角 △4二玉 ▲5三角成 △3二玉 ▲5二
馬 △4四歩 ▲4三金 まで9手

正解者：22名

推14 2012/6 けいたん作

飛成でも詰み 10手

「さっきの将棋どうなったの？
後手が玉を動かしたところまで見ていたけど」
「10手で先手が詰まされてたよ。
とどめは歩成だったね。
とどめで飛成でも詰んでたけど」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第56回出題 第2番>

▲7六歩 ▽3二飛 ▲3三角成 ▽6二玉 ▲4三馬 ▽3七飛不成 ▲4
八玉 ▽4六歩 ▲5九金左 ▽4七歩成 まで10手
正解者：20名

推15 2012/6 橘圭伍作

円舞！？ 15手

- A「この前将棋見てたら、26角成62金同角成迄15手で後手が詰まされてたよ」
B「その将棋なら自分も見たよ。先手も後手も同じ駒を異なる地点へ丁度4連続で動かしてたね」
C「それだけじゃ、分からないから他にもヒントを……」
A「歩の着手と王手が丁度1回ずつあったね」
B「先手が着手した筋は丁度5つだったね」
A「ああ、後、玉の手はなかったね」
C「成程、それで手順が分かったよ！」
さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第56回出題 第3番>

▲7六歩 ▼4二銀 ▲3三角不成 ▼7二銀▲2二角不成 ▼3三銀 ▲3
一角不成 ▼2二銀 ▲5三角不成 ▼3一銀 ▲7一角打 ▼4二銀 ▲2
六角成 ▼6二金 ▲同角成 まで15手
正解者：17名

推16 2012/7 鈴川優希作

5枚の焦点 9手

- 「隣の将棋、9手で詰んだって？」
「うん。5枚の後手駒が利いている地点に、先手が着手したのが印象的だったなあ」
「5枚の焦点だって?! 先手は詰将棋作家だったのかな」
「いや、7手目のあの馬の手は、将棋指しが好むような手だったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第57回出題 第1番>

▲7六歩 ▼3四歩 ▲2二角成 ▼5二金左 ▲6二角 ▼同金寄 ▲3一
馬 ▼5二角 ▲4二銀 まで9手 正解者：20名

推17 2012/7 鈴川優希作

5枚の焦点Ⅱ 10手

「隣の将棋、5枚の焦点に着手があったよ」

「それ、さっきも聞かなかったっけ」

「いや、別の将棋だよ。もっと詳しく説明すると、先手の玉、飛、角、金、銀が利いている地点に、後手が角を打ったんだ」

「なるほど。それで、どちらが勝ったの？」

「10手で先手玉が詰まされてた」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第57回出題 第2番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △3三桂 ▲4五角 △同 桂 ▲7七角不成 △6八角 ▲5八玉 △5七桂成 まで10手

正解者：18名

推18 2012/7 鈴川優希作

世界のナベアキ 15手

「昨日の竜王戦、すごかったな。手数が3の倍数の時に成る手が、5の倍数の時に同のつく手が指されたんだ」

「まるで、どこかのお笑い芸人だね」

「でも流石は竜王、15手で詰まして快勝だ。1段目に小駒打ちがあったり、8筋に小駒打ちがあったり、面白い内容だったよ」

「防衛目指して頑張ってください」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第57回出題 第3番>

▲7六歩 △4二飛 ▲3三角成 △3二銀 ▲同 馬 △9九角成 ▲8二銀 △3一香 ▲7一銀成 △同 金 ▲4三馬 △3七香成 ▲7二銀 △6一金 ▲同銀成 まで15手。 正解者：17名

推19 2012/8 山葵茶漬け作

左から順に 8手

「昨日恥ずかしい将棋指しちゃったよ」

「恥ずかしいってどんな将棋だよ」

「初手から、左銀、左金、玉、右金、と順番に動かしていったんだ。
ところが9手目に右銀を動かそうとしてあることに気づいたんだ」

「動かせる場所がなかった、とか？」

「半分正解」

「半分？どういうこと？」

「確かに動かせる場所もなかったけど、そもそも9手目がなかったのさ」

「あー、こういう手順で8手で詰んだわけね。この手は成生どっち？」

「普通の将棋だもん、わざわざ不成の手なんてあるわけないよ」

さて、どんな将棋だったのでしょうか。

<詰将棋メモ 第58回出題 第1番>

▲7八銀 ♽3四歩 ▲6八金 ♽7七角成 ▲4八玉 ♽6八馬 ▲3八金
♽5八金 まで8手

正解者：21名

推20 2012/8 山葵茶漬け作

左から順にⅡ 8手

「今日また恥ずかしい将棋指しちゃったよ」
「また初手から、左銀、左金、玉、右金、と順番に動かしたのか？」
「そうそう、今度は9手目に右銀を動かす場所を残しておいたんだけどね」
「でも動かせなかった、と？」
「そう、またしても8手目で詰まされちゃったからね」
「今度はこういう手順で詰んだわけね。この手は成生どっち？」
「だから、普通の将棋にわざわざ不成の手なんてあるわけないって」

さて、どんな将棋だったのでしょ。

<詰将棋メモ 第58回出題 第2番>

▲6八銀 ▽3四歩 ▲5八金左 ▽7七角成 ▲6九玉 ▽8八馬 ▲5九
金寄 ▽7八角 まで8手

正解者：21名

推21 2012/8 チャンプ作

少年の将棋は?(その5) 13手

少年A「君の将棋早く終わったみたいだけど、どんな将棋だったのか教えてよ。」

少年B「どんなと言われても、王手が4回あって13手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「仕方がないなー、じゃあ僕（先手）が指した王手の内容を教えてあげるよ。」

少年A「そうこなくっちゃ。」

少年B「不成りの王手があった」

「一段目に持ち駒を使う王手があった」

「九段目に持ち駒を使う王手があった」

少年A「もう一回は?」

少年B「それは相手（後手）の王手だから教えられないよ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

<詰将棋メモ 第58回出題 第3番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △4二玉 ▲3三角不成 △同 玉 ▲
4六歩 △6八角 ▲同 金 △2四玉 ▲5一角 △1四玉 ▲6九角 ま
で13手

正解者：19名

推22 2012/9 DD++作

大返し 9手

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 2手目は玉
- ・ 3手目は不成
- ・ 5手目は歩
- ・ 9手目は95

<詰将棋メモ 第59回出題 第1番>

▲7六歩 △6二玉 ▲3三角不成 △7四歩 ▲9六歩 △7三玉 ▲7七
角成 △8四玉 ▲9五馬 まで9手
正解者：20名

推23 2012/9 渡辺秀行作

手目+筋=8 9手

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 4手目は4筋に金
- ・ ?5手目は3筋に成
- ・ 6手目は2筋
- ・ 7手目は1筋

<詰将棋メモ 第59回出題 第2番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △4二金 ▲3三角成 △2二銀 ▲1
五角 △6二銀 ▲4二馬 まで9手
正解者：20名

推24 2012/9 NAO作

2筋の決め手 9手

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 2手目は金
- ・ 5手目は2筋に不成
- ・ 7手目は歩
- ・ 9手目は2筋

<詰将棋メモ 第59回出題 第3番>

▲7六歩 ♽6二金 ▲3三角不成 ♽5二玉 ▲2四角不成 ♽6六角 ▲同歩 ♽4四歩 ▲2五角 まで9手
正解者：19名

推25 2012/10 チャンプ作

取る一手将棋!?(その1) 9手

豪「駒を取れる局面では必ず駒を取るというルールで将棋をしようよ」

翼「了解、君が先手だ、お願いします」

豪「それじゃあ最初は▲58飛」

翼「原始中飛車か、それなら僕は△32飛」

豪「おっ、2手目32飛戦法とは流行の最先端だね」

翼「ふふ、当然だよ」

豪「しかしこれでどう？」

翼「あっ、たった9手で詰まされちゃったな」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第60回出題 第1番>

▲5八飛 ♽3二飛 ▲5六歩 ♽4二玉 ▲5五歩 ♽5四歩 ▲同歩
♽5一金右 ▲5三步成 まで9手 正解者：19名

推26 2012/10 チャンプ作

取る一手将棋!?(その2) 10手

豪「簡単に終わっちゃったね。もう一局同じルールでしょうよ」

翼「了解、また君が先手だ、お願いします」

豪「おっ、今度は急戦か」

翼「ふふ、当然だよ」

豪「あ、しまった」

翼「よし、10手で詰まして勝ったぞ」

豪「いや～6手目の△47角が好手だったね」

翼「不成の手があったのも見逃せないね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第60回出題 第2番>

▲4六歩 ▽3四歩 ▲7六歩 ▽8八角不成 ▲同 銀 ▽4七角 ▲4八玉 ▽6九角成 ▲8六歩 ▽4七金 まで10手

正解者：18名

推27 2012/10 チャンプ作

取る一手将棋!?(その3) 11手

豪「これで1勝1敗か。最後にもう一局同じルールでしょうよ」

翼「了解、またまた君が先手だ、お願いします」

豪「最後ぐらいは基本に忠実に・・・おっ?君もかい?」

翼「ふふ、当然だよ」

豪「これでトドメだ」

翼「あー、今度は11手で詰まされちゃったな」

豪「最後に駒を取って詰みとはツイてたね」

翼「駒を打ち合う乱戦だったけどやられたなー、今度は駒を成る手が無かったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

<詰将棋メモ 第60回出題 第3番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △同 飛 ▲7七桂 △3二金 ▲1五角
▽4一玉 ▲6五桂 △5二角 ▲5三桂不成まで11手

正解者：13名

推28 2012/11 タラパパ作

馬を寄る 9手

「9手、初王手で詰ませましたね。会心の一局では?」

「優劣不明の難しい将棋でしたが、馬を53に寄って勝利を確信しました」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

<詰将棋メモ 第61回出題 第1番>

▲7六歩 △4二金 ▲3三角成 △5四歩 ▲4三馬 △5三金 ▲同 馬
▽7二金 ▲5二金 まで9手

正解者：20名

推29 2012/11 KG作

継投だらけの試合 9手

「駒が成って、はいこれまで」
「あ～あ、9手で詰まされちゃった」
「それにしても面白い将棋だったな」
「桂頭の手が4回もあったからね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第61回出題 第2番>

▲7六歩 ▽3四歩 ▲2二角不成 b▽4二玉 ▲8八角不成 ▽2二銀 ▲
3一角 ▽3二玉 ▲2二角上成まで9手
正解者：20名

推30 2012/11 チャンプ作

金銀の行進 17手

少年A「こないだ眩しくなるような将棋を見かけたよ」
少年B「眩しく???一体どんな将棋だい?」
少年A「初手▲48金、3手目▲38銀で始まった将棋なんだけどね」
少年B「それはまた変わった出だしたね・・・」
少年A「実はその後も先手は金・銀の順で駒も取らず直進し続けて17手で勝っちゃったんだよ」
少年B「どうやら相手は手が見えてなかったようだね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第61回出題 第3番>

▲4八金 ▽3四歩 ▲3八銀 ▽7七角成 ▲6八金 ▽6七馬 ▲7八銀
▽4五馬 ▲6七金 ▽4二玉 ▲7七銀 ▽3三玉 ▲6六金 ▽4四玉
▲7六銀 ▽5四玉 ▲6五金 まで17手。
正解者：20名

推31 2012/12 チャンプ作

1年の締めくり 14手

少年A「指し掛けだった将棋を再開したって聞いたけど、どんな将棋だったのか教えてよ。」

少年B「大晦日に指した将棋のこと？王手が3回あって14手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「まあそうだろうね、僕（後手）は4筋の手しか指さなかったよ。」

「それと相手（先手）は5筋の手があったね。」

少年A「王手が3回あったんだよね？それを教えてよ。」

少年B「そう言うと思って今日はちゃんとメモしてきたよ。」

少年A「そこなくっちゃ。」

少年B「飛成りの王手があった」

「飛打ちの王手があった」

「竜を動かしての王手があった」

少年A「これは全て君が指した王手なの？」

少年B「それは教えられないね。ただ終局時、僕の持ち駒は無かったよ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第62回出題 第1番>

▲7六歩 ♽4四歩 ▲同 角 ♽4二飛 ▲6六角 ♽4七飛成 ▲4八飛
♾同 龍 ▲同 玉 ♽4四歩 ▲4七玉 ♽4八飛 ▲5六玉 ♽4五飛成
まで14手 正解者：16名

推32 2012/12 橋圭伍作

良いお年を 11手

謹「今日の新春対局、11角迄11手、11箇所着手だったね」

賀「成る手はなかったね」

新「先手が同じ筋に続けて着手するのはなかったね」

年「2手目に42に着手してたね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第62回出題 第2番>

▲2六歩 ▽4二玉 ▲7六歩 ▽3四歩 ▲2二角不成 ▽3二銀 ▲3一角不成 ▽3三玉 ▲2五歩 ▽1二香 ▲1一角 まで11手

正解者：17名

推33 2012/12 NAO作

2013年の指し初めは？ 13手

「さっきの将棋、どうだった」

「駒を着手した地点が13カ所あって、13歩不成まで13手の詰みで勝ったよ」

「へえ、それは2013年の新年からめでたいね」

「一つの駒を4回続けて動かす手もあったよ」

さて、指し初めのめでたい一局とはどんな将棋だったでしょうか？

手順を推理してみましょう。

<詰将棋メモ 第62回出題 第3番>

▲7六歩 ▽3四歩 ▲2二角不成 ▽3三桂 ▲1六歩 ▽4二玉 ▲1五歩 ▽3二玉 ▲1四歩 ▽2一玉 ▲3一角成 ▽1二玉 ▲1三步不成 まで13手

正解者：17名

推34 2012/12 渡辺作

14の駒は？ 10手

「さっきの14に歩以外の着手をしていた将棋はどうなった？」

「10手目25の着手で詰んだよ」

「変な将棋だったね。5筋の着手も変だったし、それより前にあった3筋の着手も変だったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

〈詰将棋メモ 第62回出題 第4番〉

▲4六歩 △3二金 ▲5八玉 △2四歩 ▲4七玉 △2三金 ▲3六玉
▽1四金 ▲2六玉 △2五金 まで10手

正解者：17名

推35 2012/12 斧間徳子作

平成25年年賀推理将棋 13手

「正月に指した将棋、わずか13手で25にいる相手玉を詰ましたんだった？」

「うん。今年は2013年で平成25年だよ。正月から縁起が良さそうだな。

そういえば、1手目と3手目と13手目が同じ筋への着手だったのも、

2013年と語呂が合っていた・・・いや、これは考えすぎかな。

とにかく、駒を成る手が1回もなかったし、不思議な将棋だったなあ」

「25で詰ましたってことは、とどめは3筋に金でも打ったのかい？」

「いや、3筋への着手は、相手の4手目と10手目だけだったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

〈詰将棋メモ 第62回出題 第5番〉

▲9六歩 △4二玉 ▲9七角 △3二玉 ▲5三角不成 △2四歩 ▲7一
角不成 △2三玉 ▲8二角不成 △3四玉 ▲2三銀 △2五玉 ▲9五飛
まで13手

正解者：17名

推36 2012/1 一乗谷酔象作

アナグラムな対局 30手

助手「今度は私の先手番でいいですね。では、お願いします」

・・・ 30手目後手の手番で・・・

博士「王手！3回目の王手だけど、これで詰みだね」

助手「負けました。16手目に2枚目の駒を打たれたところではまだまだと思ったんですけど・・・後手陣は手つかずで先手陣だけ終盤になってしまいました」

博士「最終手で詰まさずに後手陣だけ初形に戻す手もあるぐらいだからね」

助手「77地点にこだわって角の手と角成の手と馬の手を指した作戦が悪かったのでしょうか」

博士「77角と77角成と77馬は君だけでなく私も指した手だからね。それだけじゃないよ。棋譜をよく見てごらん。先手と後手の各々の着手15手の棋譜は、順序の違いを除けば同一なんだよ。いわば、『アナグラムな対局』だったんだ」

さて、アナグラムな対局とはどのような将棋でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

<第39回WFP作品展 39-1 2>

78銀 34歩 79金 77角成 68飛 78馬 69金 77馬 78金 同馬 22角生 79金 77角成
68馬 同馬 78銀 77馬 35歩 68馬 36歩 78馬 68飛 36歩 78金 35歩 77角 34歩
22角生 77角 69金 まで 30手

正解者：0名

推37 2012/2 一乗谷酔象作

生駒王手4回のスタイルメイト 29手

博士「新定跡の研究は進んでいるかな。たまには一局やるか」

助手「はい。今度は私の先手番をお願いします」

・・・ 29手目先手の着手の後、
30手目後手の手番で・・・

博士「まだ詰まされていないけど後手に指す手がないから仕方ないね。負けました」

助手「ありがとうございました。

感想戦をお願いします」

博士「序盤から王手を食らいすぎたよ。成駒の王手はなかったけど、17手目が早くも4回目の王手だったからね。」

助手「ええ、不成の多い将棋で6回も不成の手がありましたね」

博士「角が成られた直後の応手がおかしかったかな」

助手「ええ、2回ありましたけど、着手した駒はいずれも香の効きに入っていました」

博士「金を取られた直後の応手もおかしかったかな」

助手「ええ、2回ありましたけど、いずれも歩の手でした」

博士「銀を取られた直後の応手も変だったよ」

助手「ええ、2回ありましたけど、いずれも駒が直進する手でした」

博士「そもそも2手目飛車の作戦がおかしかったようだね。

角頭の歩の手も悪手だったし」

さて、「生駒王手4回のスタイルメイト」とはどのような将棋でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

<第40回WFP作品展 40-11>

76歩 92飛 33角生 62玉 22角生 74歩 13角生 73玉 82角 84玉 93角生 85玉 71
角成 97飛生 同香 24歩 15飛 25歩 61馬 12歩 31角生 92香 53角成 93桂 63馬
13桂 41馬 84歩 43馬 まで 29手

正解者：1名

推38 2012/3 一乗谷酔象作

四カ所だけ 21手（修正）

「昨日、奇妙な将棋を見たよ。駒を打ったのが四カ所で1回ずつ、駒を成ったのも四カ所で1回ずつだった」

「はあ、そんなのフツウの将棋じゃないのかい？」

「それが、小駒の着手点が四カ所だけ、大駒の着手点も四カ所だけだったんだ」

「へえ、でもそれもあり得る展開かな」

「さらに、2手目以降の着手点は四カ所だけ、それも縦2マス横2マス、2×2の範囲内の四カ所だけだったんだ」

「えーっ、それは珍しいね。そんな狭い所なら同じ手順を繰り返したんじゃないの？」

「先手の着手は全部ばらばらだったし、後手の着手も全部ばらばらだったんだけど」

「いったい、何手で詰んだんだい？」

「21手で詰んだよ。3回目の王手だった」

<第41回WFP作品展 41-9修正>

76歩 32銀 33角成 42飛 32馬 33角 43馬 32飛 33馬 同飛 32角 43飛 同角成 32金 33銀 43金 32銀成 33金 43飛 42角 同飛成 まで 21手

実質正解者：1名 41-9改作案もある（WFP46号参照）

推39 2012/4 一乗谷酔象作（余詰）

狭い所で長期戦 63手

「昨日、奇妙な将棋を見たよ。金の手を指した2手目以降の着手は四カ所だけ、それも縦2マス横2マス、ある2×2の範囲内だけだった」

「へえ、それは珍しい。そんな狭い所だと、すぐに決着がついたんだろうね」

「いいや、狭い所でも激しい攻防が長く続いたよ。駒を打った場所は1カ所だけだったけど、駒を打った2手後は必ず、駒打ちのあった場所の隣の筋に着手していたね」

「へえ、何手で詰んだの」

「たしか63手目に駒を打って詰みだったよ」

「そりゃすごい。でも、千日手模様じゃなかったかい？」

「いいや、先手の着手の棋譜はダブっていなかったし、同一局面もなかったよ」

<第42回WFP作品展 42B-4>

76歩 32金 33角成 42銀 43馬 33桂 同馬 43金 42馬 同金 43銀 33金
32銀生 42飛 43銀生 32飛 同銀生 43角 同銀成 32金 33全 42金 43全
33金 32全 43金 42全 同金 43角 33金 32角生 43銀 同角成 32金 33
馬 42金 32馬 33金 43飛 32金 33飛生 43金 32飛生 33金 42飛生
32金 43飛生 42金 33飛成 32金 43龍 33金 32龍 43角 33龍 32角
同龍 33角 43金 42角 33金 同角 43桂 まで 63手

正解者：1名

推40 2012/7 一乗谷酔象作

狭い所で長期戦 71手

「昨日、奇妙な将棋を見たよ。金の手を指した2手目以降の着手は四カ所だけ、それも縦2マス横2マス、ある2×2の範囲内だけだった」

「へえ、それは珍しい。そんな狭い所だと、すぐに決着がついたんだろうね」

「いいや、狭い所でも激しい攻防が長く続いていたよ。駒を打った場所は1カ所だけだったの
にね。たしか71手目に駒を打って詰みだった」

「そりゃすごい。でも、同じ手順を繰り返す千日手模様じゃなかったかい？」

「そういえば、後手は2手目から同じ駒を3回連続動かしていたし、それと同じ手順を40手目からと50手目からも指していたね。でも、先手の着手の棋譜はダブっていなかったし、同一局面もなかったよ」

<第42回WFP作品展 42B-4 (修正案)>

76歩 32金 33角成 42金 43馬 33金 同馬 42銀 43金 33銀 32金 42銀 33金 43角
同金 33銀 42金 同銀 43角 33銀 32角生 42飛 43角生 32飛 同角生 42銀 43角
成 33銀 32馬 42銀 33馬 43金 42馬 同金 43銀 33金 32銀生 43角 同銀成 32金
33成銀 42金 43成銀 33金 32成銀 43金 42成銀 同金 43飛 32金 33飛生 42金
32飛生 33金 42飛生 32金 43飛生 33桂 同飛生 43金 32飛成 42金 43龍 33金
32龍 43銀 33龍 32銀 同龍 33角 43桂 まで 71手

推41 2012/11 DD++作

お金をかけたくない将棋

今、僕ら2人はピンチに陥っている。誰かこの危機を最低限の被害で切り抜ける方法を教えてほしい。

僕らは今、上司に連れられてとある将棋バーにきている。ところがこの将棋バー、どうやら違法行為を行なっている場所だったらしいんだ。つまり、賭け将棋を行なっている場所だったんだよ。ルールはこうだ。

1手着手するごとに駒の移動距離×100円を備え付けのザルに入れる。斜めに移動すればルート2マスだから141円だし桂を跳ねればルート5だから223円を入れる。終局したらザルに入っているお金の2割を対局料としてお店に払い、そして残った分を勝者が取ることとなる。小駒をうまく使って勝てば対局料が減るから勝った時の利益が大きくなるというわけだ。ちなみにすべての計算において1円未満は切り捨てらしい。

恐ろしいことに、このルールは取った駒や打つ駒の移動距離にも適用される。駒台の位置は1八と9二のちょうど2マス外側として計算するという規定だ。さらに駒を裏返した時には1枚につき300円が追加で課される。駒取りや駒打ちや駒成りも少なく勝った方が儲かるというわけだ。

(賭けのルール)

- ・1手着手するごとに駒の移動距離×100円をザルに入れる
- ・駒取りの場合は、駒台の位置を1八と9二の2マス外側として取った駒の移動距離×100円もあわせて入れる
- ・駒打ちの場合は駒台を同じ位置として打った場所までの移動距離×100円を入れる
- ・駒を裏返した時には1枚につき300円を追加で入れる(成駒を取った時も駒台に置く時に裏返すことに注意)
- ・終局した時にザルに入っているお金の2割を対局料として店に払う・その後ザルに残った分を勝者が取る
- ・全ての計算において1円未満は切り捨て

このルールはたぶん賭けが好きな人にとっては燃えるルールなのだろう。だけど僕らにとっては迷惑極まりない。なぜなら僕らは賭け将棋などしたくないのだから。しかし上司に連れてきてもらった手前「僕らは指しません」とも言えず、やむなく振り駒をして僕の先手で対局を始めるハメになってしまった。

そこで僕ら2人は目線だけである合意をした。すなわち「隣で指している上司がこちらを見ていない間にくだらないう将棋を指し、差っ引かれる対局料を最低限にして勝負を終わらせてしまおう」と。一時的に2人の間に金の損得が発生したとしても、対局料を折半する形であとで

再分配すればよいのだ。僕らが欲しているのはお金ではなく「一応1局指した」という事実だけなのだから。

ところがここに1つ問題が発生した。一体どんな手順で対局を終えれば最低限の対局料で、つまり最低限の賭け金で対局を終えられるのだろうか、ということだ。

やはり最も金のかかる角は動かしたくないということで、最初に考えたのは「▲26歩△42玉▲25歩△32玉▲24歩△42飛▲23歩成」だった。7手で詰む順のうち角を使わないのはこの手順だけだからね。これなら6手目までで941円、最終手は取った歩の移動が583円で歩を進めて100円にさらに成るので300円とこの1手に983円もかかってしまうが、トータル1924円だから店にはその2割の384円取られるだけで済むわけだ。

しかしすぐにこの案は却下されることになった。飛車の代わりに金を使って「▲68玉△84歩▲78玉△85歩▲58金右△86歩▲68金寄△87歩成」なら、手数は1手多いものの飛車の大幅移動がないため、賭け金トータルは1765円、対局料は353円になる。

ぶっちゃけてしまえば2人で353円なら払っても全く問題ないわけなのだが、ここまで来たらもはや意地というものだ。僕らは1円でも被害を少なくするべく手順の模索を開始した。そして僕はやっとのことで賭け金が1123円で対局料が224円という順を発見した。しかし初手を着手しようとした時に相方の目が言っていたんだよ。もっと安くできる、と。

でも僕にはもうこれ以上安く済む順は思いつかないんだ。だから誰か教えてほしい。最小対局料となる手順はどんな順で、最小対局料はいくらになるのだろうか。

隣で上司が3手目22角成なんて贅沢な手を指しててあっちの対局料はかなり跳ね上がるだろうから、おかげで僕らがどんな露骨な対局をしても店からの文句は来ないと思うのでその点は安心してほしい。

<おばかな作品展14>

▲投了 まで、対局料0円 正解者：1名

推42 2012/11 洞江玄太作

推理将棋 15手

「昨日のおばかな将棋大会、15手で詰んだらしいね」
「へえー、ちょっと棋譜を見せてよ」
「はい、どうぞ。」
「うわー、『————成』っていう手が12手もあるよ！」
「ちなみに最終図は成駒が4つあったらしいね」
「しかも5手目からお互いずっと駒をとってるよ・・・」

<おばかな作品展15>

76歩 32飛 33角不成 52玉 22角不成 37飛不成 13角不成 27飛不成 31角成 47飛成 23飛不成 17香不成 43飛不成 19香成 53飛成 迄 15手 正解者：4名

推43 2012/12 変寝夢作

PWC推理将棋 ?手

最短手順を求めよ。どちらの玉を詰ませてよい。

<第3回フェアリー短編コンクール 03-01>

68王 34歩 78王 77角成 まで 4手 正解者：3名

推44 2012/12 変寝夢作

PWC推理将棋 5手

- ・2手目は玉の手
- ・互いの駒台に駒が置かれることはなかった

<第3回フェアリー短編コンクール 03-02>

76歩 62玉 44角 同歩/43角 61角成/43金 まで 5手 正解者：3名